

随意契約結果及び契約の内容

業務の名称	令和6年度九州管内における持続的なクルーズ船受入方策検討業務																																																																																	
業務概要	3. 業務内容 <table><tr><th>業務名称</th><th>業 務 内 容</th><th>単位</th><th>数量</th><th>摘要</th></tr><tr><td colspan="5">令和6年度九州管内における持続的なクルーズ船受入方策検討業務</td></tr><tr><td>計画準備</td><td></td><td>式</td><td>1</td><td></td></tr><tr><td rowspan="6">新たなクルーズ船寄港港湾及び新たなタイプのクルーズ船寄港の検討</td><td>クルーズ船受入に必要な項目等の整理</td><td>式</td><td>1</td><td></td></tr><tr><td>クルーズ船受入に係る法制度面の整理</td><td>式</td><td>1</td><td></td></tr><tr><td>大型クルーズ船の配船動向及び見通しの整理</td><td>式</td><td>1</td><td></td></tr><tr><td>クルーズ船受入に係る可能性及び意向の整理</td><td>式</td><td>1</td><td></td></tr><tr><td>新たなクルーズ船寄港港湾及び新たなタイプのクルーズ船寄港の検討</td><td>式</td><td>1</td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td rowspan="4">持続的なクルーズ船受入方策の検討</td><td>九州管内港湾におけるクルーズ船受入に係る重要課題の抽出</td><td>式</td><td>1</td><td></td></tr><tr><td>重要課題への解決方策の検討</td><td>式</td><td>1</td><td></td></tr><tr><td>持続的なクルーズ船受入方策の検討</td><td>式</td><td>1</td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>成果物</td><td>業務完成図書作成</td><td>式</td><td>1</td><td></td></tr><tr><td rowspan="4">協議・報告</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>事前協議</td><td>回</td><td>1</td><td></td></tr><tr><td>中間報告</td><td>回</td><td>1</td><td></td></tr><tr><td>最終報告</td><td>回</td><td>1</td><td></td></tr></table>	業務名称	業 務 内 容	単位	数量	摘要	令和6年度九州管内における持続的なクルーズ船受入方策検討業務					計画準備		式	1		新たなクルーズ船寄港港湾及び新たなタイプのクルーズ船寄港の検討	クルーズ船受入に必要な項目等の整理	式	1		クルーズ船受入に係る法制度面の整理	式	1		大型クルーズ船の配船動向及び見通しの整理	式	1		クルーズ船受入に係る可能性及び意向の整理	式	1		新たなクルーズ船寄港港湾及び新たなタイプのクルーズ船寄港の検討	式	1							持続的なクルーズ船受入方策の検討	九州管内港湾におけるクルーズ船受入に係る重要課題の抽出	式	1		重要課題への解決方策の検討	式	1		持続的なクルーズ船受入方策の検討	式	1							成果物	業務完成図書作成	式	1		協議・報告					事前協議	回	1		中間報告	回	1		最終報告	回	1	
業務名称	業 務 内 容	単位	数量	摘要																																																																														
令和6年度九州管内における持続的なクルーズ船受入方策検討業務																																																																																		
計画準備		式	1																																																																															
新たなクルーズ船寄港港湾及び新たなタイプのクルーズ船寄港の検討	クルーズ船受入に必要な項目等の整理	式	1																																																																															
	クルーズ船受入に係る法制度面の整理	式	1																																																																															
	大型クルーズ船の配船動向及び見通しの整理	式	1																																																																															
	クルーズ船受入に係る可能性及び意向の整理	式	1																																																																															
	新たなクルーズ船寄港港湾及び新たなタイプのクルーズ船寄港の検討	式	1																																																																															
持続的なクルーズ船受入方策の検討	九州管内港湾におけるクルーズ船受入に係る重要課題の抽出	式	1																																																																															
	重要課題への解決方策の検討	式	1																																																																															
	持続的なクルーズ船受入方策の検討	式	1																																																																															
成果物	業務完成図書作成	式	1																																																																															
協議・報告																																																																																		
	事前協議	回	1																																																																															
	中間報告	回	1																																																																															
	最終報告	回	1																																																																															
契約担当官等の氏名並びにその所属する部局の名称及び所在地	支出負担行為担当官九州地方整備局副局長 坂井 功 福岡県福岡市博多区博多駅東2－10－7																																																																																	
契約年月日	令和6年7月11日																																																																																	
契約業者名	一般財団法人みなと総合研究財団																																																																																	
契約業者の住所	東京都港区虎ノ門三丁目1番10号																																																																																	
契約金額（税込）	¥19,998,000																																																																																	
予定価格（税込）	¥19,998,000																																																																																	
随意契約によることとした理由	本業務を実施するにあたっては、九州管内における持続的なクルーズ船受入方策検討に関する豊富な知識のみならず、高度な分析・立案能力が必要であることから、受注者に対しては、1. 予定技術者の経験及び能力（技術者資格、業務執行技術力等）、2. 業務実施方針（業務理解度、業務実施手順等）、3. 特定テーマに対する技術提案（的確性、実現性）等の観点からプロポーザルの提出を求めたものである。 建設コンサルタント等の特定手続きに基づく審査の結果、一般財団法人みなと総合研究財団が最適であると判断されることから、会計法第29条の3第4項に基づき随意契約を行い業務の円滑な遂行を図るものとする。																																																																																	
業務場所	発注者指定の場所																																																																																	
業種区分	建設コンサルタント等																																																																																	
履行期間（自）	令和6年7月11日																																																																																	
履行期間（至）	令和7年3月14日																																																																																	
備考																																																																																		